

令和2年度授業改善推進プラン【5年生】

教科	児童の課題	具体的な改善のための方策
国語	△文章を書くことに苦手意識をもち、要旨や感想をまとめることが難しい児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> まずは短い文章から始め、文章を書く機会を多く確保する。要旨や感想をまとめることが難しい児童には、見本を提示し個別に対応する。
社会	△単元の最後に行う学習問題に対する自分の考えをまとめることに苦手意識をもつ児童が多い。 △課題に対して調べる際に、グラフなどの資料のどの部分を見たらよいか分からず戸惑う児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> 見本の文章を渡しその文章を真似する所から始める。 書画カメラを活用し、教室の大型モニターの画面に大きく提示する。グラフなどの資料では、大きく変化があったところ、他の物より特出しているところに視点をあて、児童に気付かせるようにさせる。
算数	△式や答えはノートに書くことができても、その式の意味や解き方の説明をノートに書くことを苦手としている児童がいる。 △筆算の足し算や引き算、かけ算やわり算など、基本的な計算が身に付いていない児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> 考えの根拠や結果を、図や表を用いて整理してまとめることができるようにするために、見本の文章を提示し個別に対応しながら書かせるようにする。 授業の開始時に四則計算の問題を数問出し、基礎学力の向上を図る。
理科	△実験の最後を書く「今回の結果からどのようなことが考えられるのか」をノートにまとめることを苦手としている児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> 現象を視覚化して統合的に捉えさせ、現象の要因や規則性を推論して解決していく力を身に付けられるようにする。
音楽	△音符や音楽記号を理解して、演奏に生かすことが難しい児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の鑑賞や音楽づくりを通して、音楽を形づくっている要素の効果について体験的に感じられるようにする。
図工	△絵の具の扱い方など、既習事項の技能を生かすことに課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> 前学年までの絵の具の経験や技能を、振り返らせて表現に合わせて総合的に生かして表すように指導していく。
体育	△体を動かすことが好きな児童は多いが、単元によっては苦手意識をもち、積極的に取り組むことができない児童もいる。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が自分のめあてをもって活動に取り組めるようにするために、共に学び合う時間を確保し、児童の実態に合った場を設定する。
家庭科	△裁縫の細かい作業が苦手な児童もいる。	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導ができるように、個々の児童の実態を把握し、段階的な指導をする。
外国語	△教師の英語での発問に、他の児童の前で一人で答えることに苦手意識をもつ児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> 初めは近くの席の児童同士で会話をして、相手に自分の思いが伝わる楽しさを感じる経験をさせる。その際、気持ちの振り返りを丁寧に行い、一人一人に自信をもたせる。